

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 宮崎 耕治		
管理担当者氏名	総務課長：最所力男 看護部長：田中洋子	患者サービス課長：釘宮 隆 放射線部長：工藤 祥	薬剤部長：藤戸 博 診療記録センター長：小泉俊三

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 患者サービス課 薬剤部 看護部 放射線部 診療記録センター	診療記録は、診療記録センターにおいて、1患者1ファイルで集中管理している。 画像診断写真は、放射線部において、集中管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	患者サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供の実績	患者サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課 薬剤部	
規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者サービス課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	患者サービス課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	患者サービス課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

		保管場所	分類方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	経営管理課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	患者サービス課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	患者サービス課 感染制御部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	MEセンター	
		従業者に対する医療機器野安全使用のための研修の実施状況	MEセンター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	MEセンター	

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学部事務部長	大石 茂 博
閲覧担当者氏名	患者サービス課長	釘 宮 隆
閲覧の求めに応じる場所	医療相談室	

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	71.3 %	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	9,125 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,059 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,546 人	
	D: 初診の患者の数	17,396 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の2 3及び第1条の1 1各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無																																										
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無																																										
③ 医療にかかる安全管理を行う部門の配置状況	有・無																																										
<p>・所属職員： 専任(1)名 兼任(13)名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。</p> <p>(2) 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</p> <p>(3) 患者や家族への説明など医療事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</p> <p>(4) 医療事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに必要な指導を行うこと。</p> <p>(5) 医療安全に係る連絡調整に関すること。</p> <p>(6) その他医療安全対策の推進に関すること。</p>																																											
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無																																										
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無																																										
<p>・指針の主な内容：</p> <p>第1 本院における医療安全管理に関する基本的考え方</p> <p>第2 医療安全管理委員会その他本院内の組織に関する基本的事項</p> <p>第3 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>第4 本院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</p> <p>第5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</p> <p>第6 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する当指針の閲覧に関する基本方針を含む）</p> <p>第7 患者からの相談への対応に関する基本方針</p> <p>第8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p> <p>※「佐賀大学医学部附属病院における医療に係る安全管理のための指針」添付</p>																																											
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回																																										
<p>・活動の主な内容：</p> <p>医療安全管理委員会では、次に掲げる事項の審議をおこなう。</p> <p>(1) 医療事故に係る情報の収集及び提供に関すること。</p> <p>(2) 発生した医療事故の原因分析及び改善策等に関すること。</p> <p>(3) 医療事故防止のための教育・研修に関すること。</p> <p>(4) その他医療安全管理に関し必要な事項</p> <p>※「佐賀大学医学部附属病院医療安全管理委員会規程」、「医療安全管理委員会名簿」添付</p>																																											
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 18 回																																										
<p>・研修の主な内容：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修内容(テーマ)</th> <th>研修期間</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「医療訴訟の増加に対して我々は今何をすべきか」「医療事故等発生時の診療記録への記載について」「輸血に関するリスクマネジメントについて」</td> <td>H19. 7. 31 (1.0時間)</td> <td rowspan="6">945名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)</td> <td>H19. 8. 22 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>"</td> <td>H19. 8. 23 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>"</td> <td>H19. 8. 24 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>"</td> <td>H19. 8. 27 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>"</td> <td>H19. 8. 28 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>「中心静脈カテーテル挿入(CVC)に関する指針について」</td> <td>H19. 11. 6 (0.5時間)</td> <td rowspan="6">915名</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)</td> <td>H19. 11. 16 (0.5時間)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>"</td> <td>H19. 11. 19 (0.5時間)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>"</td> <td>H19. 11. 20 (0.5時間)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>"</td> <td>H19. 11. 21 (0.5時間)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>"</td> <td>H19. 11. 22 (0.5時間)</td> </tr> </tbody> </table>			研修内容(テーマ)	研修期間	参加人数	1	「医療訴訟の増加に対して我々は今何をすべきか」「医療事故等発生時の診療記録への記載について」「輸血に関するリスクマネジメントについて」	H19. 7. 31 (1.0時間)	945名	2	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H19. 8. 22 (1.0時間)	3	"	H19. 8. 23 (1.0時間)	4	"	H19. 8. 24 (1.0時間)	5	"	H19. 8. 27 (1.0時間)	6	"	H19. 8. 28 (1.0時間)	7	「中心静脈カテーテル挿入(CVC)に関する指針について」	H19. 11. 6 (0.5時間)	915名	8	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H19. 11. 16 (0.5時間)	9	"	H19. 11. 19 (0.5時間)	10	"	H19. 11. 20 (0.5時間)	11	"	H19. 11. 21 (0.5時間)	12	"	H19. 11. 22 (0.5時間)
	研修内容(テーマ)	研修期間	参加人数																																								
1	「医療訴訟の増加に対して我々は今何をすべきか」「医療事故等発生時の診療記録への記載について」「輸血に関するリスクマネジメントについて」	H19. 7. 31 (1.0時間)	945名																																								
2	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H19. 8. 22 (1.0時間)																																									
3	"	H19. 8. 23 (1.0時間)																																									
4	"	H19. 8. 24 (1.0時間)																																									
5	"	H19. 8. 27 (1.0時間)																																									
6	"	H19. 8. 28 (1.0時間)																																									
7	「中心静脈カテーテル挿入(CVC)に関する指針について」	H19. 11. 6 (0.5時間)	915名																																								
8	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H19. 11. 16 (0.5時間)																																									
9	"	H19. 11. 19 (0.5時間)																																									
10	"	H19. 11. 20 (0.5時間)																																									
11	"	H19. 11. 21 (0.5時間)																																									
12	"	H19. 11. 22 (0.5時間)																																									

13	「医療訴訟から医療を守れ！～医療訴訟の現状・対策・課題～」	H20. 3. 19 (1.0時間)	725名
14	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H20. 3. 25 (1.0時間)	
15	〃	H20. 3. 26 (1.0時間)	
16	〃	H20. 3. 27 (1.0時間)	
17	〃	H20. 3. 28 (1.0時間)	
18	〃	H20. 3. 31 (1.0時間)	

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための
方策の状況 有 ・ 無

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

【問題点の把握方法】

インシデント・アクシデント速報システムによる報告、インシデント・アクシデントレポートは全て医療安全管理室で収集している。

【問題点の分析方法】

集まった事例は、専任セイフティマネジャーが影響度を分類のうえサマリ化する。
サマリは定例の医療安全管理室会議において分析を行う。

【改善策の検討方法】

- (1) 問題発生の事象に関連する部署と専任セイフティマネジャーで対応策の検討を行う。
- (2) サマリは、定例の医療安全管理室会議において対応策等の検討を行う。
- (3) 医療安全管理委員会において審議する。

【改善事例】

平成19年4月 9日 医療事故等の連絡経路（時間内、時間外・祝休日）
平成19年4月24日 注射針等の外径を示すカラーコードのISO規格への統一について
平成19年6月13日 病院案内看板AED装置シール貼付位置について
平成19年7月 4日 医療に係る安全管理・院内感染対策のための指針について
平成19年11月6日 CVCに関する指針について
平成20年4月 4日 患者情報漏洩等の防止について
平成20年4月24日 電子カルテ検査情報表示の不具合について
平成20年5月 9日 胃管の誤挿入防止について（再通知）
平成20年5月27日 電子カルテ検査情報表示の不具合対応について

【インシデント・アクシデント報告件数】

平成19年度	1,287 件		
（インシデント）	1,262 件	（うち、医師の報告件数	92 件）
（アクシデント）	25 件	（うち、医師の報告件数	17 件）
平成20年度	605 件	（平成20年6月現在）	
（インシデント）	600 件	（うち、医師の報告件数	41 件）
（アクシデント）	5 件	（うち、医師の報告件数	3 件）

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) ・ 無																																																													
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>第1 本院における院内感染対策に関する基本的考え方 第2 院内感染対策のための委員会その他本院内の組織に関する基本事項 第3 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 第4 感染症の発生状況の報告に対する基本的対応方針 第5 院内感染発生時の対応に関する基本方針 第6 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 第7 その他の本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p> <p>※「佐賀大学医学部附属病院における医療に係る院内感染対策のための指針」添付</p>																																																														
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回																																																													
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>院内感染対策委員会では、次に掲げる事項の審議をおこなう。</p> <p>(1) 院内感染の予防に関すること。 (2) 院内感染予防に係る情報の収集に関すること。 (3) 院内感染源及び感染経路の調査に関すること。 (4) 院内感染予防対策の確立に関すること。 (5) 感染制御部の運営に関すること。 (6) その他感染予防及び対策に関すること。</p> <p>※「佐賀大学医学部附属病院院内感染対策委員会規程」、「院内感染対策委員会名簿」添付</p>																																																														
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 18 回																																																													
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="1" data-bbox="151 940 1380 1568"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修内容 (テーマ)</th> <th>研修期間</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「カテーテル関連血流感染 (CRBSI) の予防」</td> <td>H19. 9. 11 (1.0時間)</td> <td rowspan="6">905名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)</td> <td>H19. 9. 25 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>”</td> <td>H19. 9. 26 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>”</td> <td>H19. 9. 27 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>”</td> <td>H19. 9. 28 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>”</td> <td>H19. 10. 1 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>「標準予防策：感染防護具 (PPE) を正しく使おう」</td> <td>H19. 11. 6 (0.5時間)</td> <td rowspan="6">908名</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)</td> <td>H19. 11. 16 (0.5時間)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>”</td> <td>H19. 11. 19 (0.5時間)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>”</td> <td>H19. 11. 20 (0.5時間)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>”</td> <td>H19. 11. 21 (0.5時間)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>”</td> <td>H19. 11. 22 (0.5時間)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>「院内発症の腸管感染症の対策」</td> <td>H20. 1. 8 (1.0時間)</td> <td rowspan="6">784名</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)</td> <td>H20. 1. 11 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>”</td> <td>H20. 1. 16 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>”</td> <td>H20. 1. 17 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>”</td> <td>H20. 1. 21 (1.0時間)</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>”</td> <td>H20. 1. 22 (1.0時間)</td> </tr> </tbody> </table>			研修内容 (テーマ)	研修期間	参加人数	1	「カテーテル関連血流感染 (CRBSI) の予防」	H19. 9. 11 (1.0時間)	905名	2	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H19. 9. 25 (1.0時間)	3	”	H19. 9. 26 (1.0時間)	4	”	H19. 9. 27 (1.0時間)	5	”	H19. 9. 28 (1.0時間)	6	”	H19. 10. 1 (1.0時間)	7	「標準予防策：感染防護具 (PPE) を正しく使おう」	H19. 11. 6 (0.5時間)	908名	8	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H19. 11. 16 (0.5時間)	9	”	H19. 11. 19 (0.5時間)	10	”	H19. 11. 20 (0.5時間)	11	”	H19. 11. 21 (0.5時間)	12	”	H19. 11. 22 (0.5時間)	13	「院内発症の腸管感染症の対策」	H20. 1. 8 (1.0時間)	784名	14	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H20. 1. 11 (1.0時間)	15	”	H20. 1. 16 (1.0時間)	16	”	H20. 1. 17 (1.0時間)	17	”	H20. 1. 21 (1.0時間)	18	”	H20. 1. 22 (1.0時間)
	研修内容 (テーマ)	研修期間	参加人数																																																											
1	「カテーテル関連血流感染 (CRBSI) の予防」	H19. 9. 11 (1.0時間)	905名																																																											
2	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H19. 9. 25 (1.0時間)																																																												
3	”	H19. 9. 26 (1.0時間)																																																												
4	”	H19. 9. 27 (1.0時間)																																																												
5	”	H19. 9. 28 (1.0時間)																																																												
6	”	H19. 10. 1 (1.0時間)																																																												
7	「標準予防策：感染防護具 (PPE) を正しく使おう」	H19. 11. 6 (0.5時間)	908名																																																											
8	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H19. 11. 16 (0.5時間)																																																												
9	”	H19. 11. 19 (0.5時間)																																																												
10	”	H19. 11. 20 (0.5時間)																																																												
11	”	H19. 11. 21 (0.5時間)																																																												
12	”	H19. 11. 22 (0.5時間)																																																												
13	「院内発症の腸管感染症の対策」	H20. 1. 8 (1.0時間)	784名																																																											
14	(上記、本開催研修会の収録ビデオ上映)	H20. 1. 11 (1.0時間)																																																												
15	”	H20. 1. 16 (1.0時間)																																																												
16	”	H20. 1. 17 (1.0時間)																																																												
17	”	H20. 1. 21 (1.0時間)																																																												
18	”	H20. 1. 22 (1.0時間)																																																												
<p>④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況</p> <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>情報を院内Web上で毎日更新し、院内に公開している。また、新規発生MRSAやその他耐性菌については、感染制御部で部署への訪問や確認を行っている。</p>																																																														

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有 ・ 無												
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回												
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="1" data-bbox="140 340 1362 524"> <thead> <tr> <th data-bbox="140 340 185 376"></th> <th data-bbox="185 340 999 376">研修内容 (テーマ)</th> <th data-bbox="999 340 1238 376">研修期間</th> <th data-bbox="1238 340 1362 376">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="140 376 185 448">1</td> <td data-bbox="185 376 999 448">「医薬品安全のための手順とその実施評価について」</td> <td data-bbox="999 376 1238 448">H19. 10. 16 (0. 5時間)</td> <td data-bbox="1238 376 1362 448">330名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="140 448 185 524">2</td> <td data-bbox="185 448 999 524">「副作用速報システムの運用について」</td> <td data-bbox="999 448 1238 524">H20. 1. 7 (0. 5時間)</td> <td data-bbox="1238 448 1362 524">330名</td> </tr> </tbody> </table>			研修内容 (テーマ)	研修期間	参加人数	1	「医薬品安全のための手順とその実施評価について」	H19. 10. 16 (0. 5時間)	330名	2	「副作用速報システムの運用について」	H20. 1. 7 (0. 5時間)	330名
	研修内容 (テーマ)	研修期間	参加人数										
1	「医薬品安全のための手順とその実施評価について」	H19. 10. 16 (0. 5時間)	330名										
2	「副作用速報システムの運用について」	H20. 1. 7 (0. 5時間)	330名										
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <p>・ 手順書の作成 (○有 ・ 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>以下の項目について、「できている」か「要改善」かのチェックを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医薬品保管証には必要最小限の薬剤である。 (2) 医薬品保管証の薬品以外に余剰の薬品はない。 (3) 麻薬、覚せい剤原料、第1種・第2種向精神薬は施錠できる場所で区別して保管している。 (4) 医薬品の保管場所にきちんと表示がある。 (5) 冷所保存の医薬品が整理整頓されている。 (6) 緊急の場合以外は、口頭指示だけでなく、指示簿や処方せんで指示を受けいている。 (7) 内服薬の準備の時には、薬剤を二人でチェックしている。 (8) 注射薬調整では、2度以上の薬剤確認を行っている。 (9) 点滴投与を開始した後は、点滴ルートから液漏れがないかの確認や、全身状態の確認をしている。 (10) 新鮮凍結血漿は常に37℃で溶解し、3時間以内に使用している。 													
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医薬品に係る添付文書等の収集方法として、DSUによる変更点の収集およびメーカーへの変更後の添付文書の送付を依頼している。</p> <p>また、得られた情報のうち必要なものについて医薬品を取り扱う職員に対して、小冊子「薬局からのお知らせ」を月に1回発行し、各病棟、各診療科へ配付し、その中にDSUも含めて周知している。</p> <p>その他にも、緊急に通知する必要がある場合は、随時、各病棟、各診療科へ配付している。</p>													